

平成23年度収蔵作品(受贈)

《受贈作品》

No	作家名	作品名	制作年	寸法	材質・技法
1	川島清	彫刻への記憶－鉄	1984	91.5×3×45cm(4点組)	鉄
2	川島清	桜	1985	330×80×50cm	木、鉄、鉛
3	野村和弘	タブロー形式の作品 1－347	1989～	26×19.5×3cm	アクリル絵具、カンヴァス、木枠
4	野村和弘	タブロー形式の作品 1－349	1989～	26×19.5×3cm	アクリル絵具、カンヴァス、木枠
5	野村和弘	壁画形式の作品 1－432	2010	166.8×135cm	アクリル絵具、鉛筆、紙、木
6	野村和弘	untitled(dance)	2002	23×17×28cm	玩具、木、アルミ板、アクリル塗料
7	野村和弘	double handicapes	2006		DVDビデオ(6分30秒×3)、ゼログラフィー、紙 ed.1/12
8	野村和弘	eva	2007		2枚組DVDビデオ(それぞれ8分15秒)、ゼログラフィー、紙 ed.1/12
9	野村和弘	In der Zukunft wird jeder 15 Minuten Lang mit Buddha sein in der Zukunft wird jeder 15 Minuten Lang mit Buddha sein(popular edition)	2004		DVDビデオ(8分08秒)、ゼログラフィー、紙 ed.1/12
10	野村和弘	In der Zukunft wird jeder 15 Minuten Lang mit Buddha sein(popular edition)	2008		DVDビデオ(8分37秒)、ゼログラフィー、紙
11	野村和弘	frances	2009		DVDビデオ(16秒)、ゼログラフィー、紙 ed.1/12
12	野村和弘	eva(newborn)	2008		リトグラフ・紙 ed.2/25
13	郭徳俊	オバマと郭	2009	51.5×36.5cm	シルクスクリーン・紙 ed.14/30
14	田口安男	男子裸体	1954	106×65.2cm	油彩・カンヴァス
15	田口安男	すれちがうもの	1959	90.9×116.7cm	油彩・カンヴァス
16	田口安男	よぎるむれ	1965	193×220cm	油彩・カンヴァス
17	田口安男	みだれみだれ	1965	183×364cm	油彩・カンヴァス
18	田口安男	上昇と屈折	1957	91×116.7cm	油彩・カンヴァス
19	田口安男	白と黒の間	1959	145.5×112.1cm	油彩・カンヴァス
20	田口安男	手繰り出す眼	1965	134.3×227.2cm	油彩・カンヴァス
21	田口安男	眼の島	1977	218×227cm	テンペラ・カンヴァス
22	田口安男	手のうら焰	1977	218×333.3cm	テンペラ・カンヴァス
23	田口安男	もちあい三つ手B	1982	53×53cm	テンペラ・カンヴァス
24	田口安男	三美神	1992	218×333.3cm	テンペラ・カンヴァス
25	田口安男	白道－気－	1992	291×436cm	油彩、テンペラ・カンヴァス
26	阿部セキ	かに	1977	98×131.5cm	油彩・カンヴァス
27	阿部セキ	市場の一隅	1978	113.8×147cm	油彩・カンヴァス
28	阿部セキ	さかな	1985	75.5×119cm	水彩・紙
29	大津一幸	孤蝶－虚空	1981	29.5×24cm	木版・紙
30	大津一幸	孤蝶－虚窓	1985	45×32cm	木版・紙
31	大津一幸	緑中御堂	2009	32.5×22.5cm	木版・紙

◇川島清(かわしまきよし):1951年会津若松市生まれ。彫刻の構造、また、周囲の空間とのそのあり方に問題意識を持って制作。今回収蔵するのは、当館所蔵の「Observation」シリーズの前段階にあたるもので、川島の作品展開をたどる意味でも重要な作品。

◇野村和弘(のむらかずひろ):1958年高知市生まれ。視覚の曖昧性を喚起するなど、今日、注目を集める活動を展開している。平成22年に東島毅との二人展を当館で開催。作家と協議し、作品世界を紹介するのによりいい形を考えての収蔵となった。

◇郭徳俊(かくとくしゅん):1937年京都市生まれ。戦後の重要な作家のひとり。今回収蔵する作品は、郭の代表的な作品「大統領シリーズ」の最新作。既に当館で収蔵している同シリーズを補完する形になる。

◇田口安男(たぐちやすお):1930年いわき市生まれ。いわき市出身の重要な作家のひとり。東京藝術大学名誉教授。これまで体系的な作品収集が進められてきている。今回の収蔵でより充実したコレクションとなる。

◇阿部セキ(あべせき):1915年いわき市生まれ。示現会会員、いわき美術協会会員、また、いわき市民美術展覧会招待作家として活躍。いわきの魚を描き続けた作家として市民に親しまれている。

◇大津一幸(おおつかずゆき):1935年伊勢崎市生まれ。版画家・斉藤清の専属擦り師として約40年間務める。平成20年、21年、当館での木版画の実技講座の講師をつとめる。